



平成29年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年3月10日

上場会社名 インспек株式会社
コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 雅史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成29年3月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成29年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	1,309	47.4	15		26		30	
28年4月期第3四半期	888		212		230		231	

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 49百万円 (%) 28年4月期第3四半期 252百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	11.73	
28年4月期第3四半期	89.10	

(注) 前々連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成28年4月期第3四半期の対前期増減率は記載しておりません。
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第3四半期	2,344	919	24.8	223.38
28年4月期	2,115	789	28.8	234.56

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 582百万円 28年4月期 610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期		0.00		0.00	0.00
29年4月期		0.00			
29年4月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,320	42.5	170		160		100		38.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年4月期3Q	2,607,300 株	28年4月期	2,601,300 株
期末自己株式数	29年4月期3Q	株	28年4月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	29年4月期3Q	2,603,658 株	28年4月期3Q	2,601,300 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年5月1日～平成29年1月31日）におけるわが国経済は新興国経済の減速や英国のEU離脱問題及び米国の大統領選挙の動向により、先行き不安が広がる局面もありましたが、雇用・所得環境の改善もあり、緩やかながらも回復傾向が続きました。当社グループが属する半導体関連業界におきましては、高付加価値品や次世代製品の開発に向けた投資が継続しており、国内市場の受注は堅調に推移しております。

平成29年1月12日に当社の連結子会社であるテラ株式会社は、株式会社クラロと事業譲渡契約を締結し、株式会社クラロの全事業を譲り受けました。なお、同日付でテラ株式会社はクラロ株式会社に商号変更しております。

このような経営環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,309百万円（前年同期比47.4%増）、営業損失は15百万円（前年同期は営業損失212百万円）、経常損失は26百万円（前年同期は経常損失230百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失231百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①半導体パッケージ基板・精密基板検査装置関連事業（当社）

当第3四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますAVI（自動最終外観検査装置）及びAOI（プリント基板のパターン検査装置）の引合いや受注は引き続き堅調に推移しており、また、当社戦略製品として取り組んでおりますフレキシブル基板用ロールtoロール型AOIの初号機を受注しております。当第3四半期連結会計期間末における受注残高は758百万円となっております。

この結果、当事業の売上高は801百万円となり、セグメント利益は17百万円となりました。

②精密基板製造装置関連事業（First EIE SA）

当第3四半期連結累計期間におきましては、当事業の主力製品でありますフォトリソ（基板のフィルム原版を印刷する装置）及びダイレクトイメージング（基板にパターンを直接描写する装置）が売上を牽引し、堅調に推移しております。

この結果、当事業の売上高は478百万円となり、セグメント利益は17百万円となりました。

③デジタルパソロジー関連機器事業（クラロ株式会社：旧テラ株式会社）

当第3四半期連結累計期間におきましては、WSI（Whole Slide Imaging、旧名：バーチャルスライドシステム）の販路拡充に努めており、受注活動に注力しましたが、販売市場の拡大が予想よりも進んでおらず、売上高は低い水準にとどまりました。

この結果、当事業の売上高は29百万円となり、セグメント損失は59百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末に比べ229百万円増加し、2,344百万円となりました。これは主に、現金及び預金123百万円の増加、受取手形及び売掛金31百万円の減少、電子記録債権47百万円の減少及び仕掛品147百万円の増加等によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、1,425百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金20百万円の増加、短期借入金180百万円の増加及び長期借入金223百万円の減少等によるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ130百万円増加し、919百万円となりました。これは主に、資本剰余金10百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月期通期の業績予想につきましては、平成28年6月10日に公表しました業績予想から連結・個別とも変更はありません。当社グループでは主として顧客の増産が集中する第4四半期連結会計期間に需要が多く、第4四半期連結会計期間の売上高及び営業費用が著しく増加する傾向があります。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があるため、修正等が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,915	464,625
受取手形及び売掛金	453,627	422,288
電子記録債権	57,909	10,346
商品及び製品	60,017	54,869
仕掛品	238,342	385,525
原材料及び貯蔵品	65,227	66,499
その他	208,956	46,179
貸倒引当金	△7,200	△7,200
流動資産合計	1,417,797	1,443,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	181,010	174,152
機械装置及び運搬具（純額）	14,599	39,756
土地	20,350	20,350
建設仮勘定	78,419	64,214
その他（純額）	18,064	34,045
有形固定資産合計	312,443	332,519
無形固定資産		
のれん	346,099	530,439
その他	21,587	19,337
無形固定資産合計	367,686	549,776
投資その他の資産	17,324	19,471
固定資産合計	697,454	901,766
資産合計	2,115,251	2,344,900
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	181,717	202,699
短期借入金	—	180,000
1年内返済予定の長期借入金	244,469	234,196
未払法人税等	1,741	15,595
製品保証引当金	28,031	25,608
繰延税金負債	3,864	9,331
課徴金引当金	12,240	12,240
その他	115,699	224,055
流動負債合計	587,762	903,726
固定負債		
長期借入金	701,464	487,747
繰延税金負債	18,083	17,613
資産除去債務	302	303
その他	18,616	16,186
固定負債合計	738,466	521,850
負債合計	1,326,228	1,425,577

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	485,400	487,331
資本剰余金	84,534	94,539
利益剰余金	68,266	37,717
株主資本合計	638,201	619,589
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△28,034	△37,171
その他の包括利益累計額合計	△28,034	△37,171
新株予約権	27,654	43,991
非支配株主持分	151,202	292,914
純資産合計	789,023	919,323
負債純資産合計	2,115,251	2,344,900

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年5月1日 至平成28年1月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年5月1日 至平成29年1月31日）
売上高	888,647	1,309,752
売上原価	542,310	761,197
売上総利益	346,337	548,554
販売費及び一般管理費	558,877	564,308
営業損失（△）	△212,540	△15,753
営業外収益		
受取利息	1,092	479
為替差益	2,959	—
補助金収入	—	11,092
貸倒引当金戻入額	2,583	—
その他	1,010	675
営業外収益合計	7,645	12,247
営業外費用		
支払利息	23,051	20,821
手形売却損	1,825	881
為替差損	—	788
その他	642	667
営業外費用合計	25,519	23,160
経常損失（△）	△230,413	△26,666
特別利益		
新株予約権戻入益	179	—
特別利益合計	179	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
課徴金引当金繰入額	12,240	—
特別損失合計	12,240	0
税金等調整前四半期純損失（△）	△242,473	△26,666
法人税、住民税及び事業税	△2,022	13,021
法人税等調整額	△503	4,722
法人税等合計	△2,526	17,743
四半期純損失（△）	△239,947	△44,409
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△8,162	△13,860
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△231,784	△30,549

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日）
四半期純損失（△）	△239,947	△44,409
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,175	△5,424
その他の包括利益合計	△12,175	△5,424
四半期包括利益	△252,123	△49,833
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242,041	△34,619
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,081	△15,214

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年5月1日至平成28年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 ((注)1)	四半期連結 損益計算書 計上額 ((注)2)
	半導体パッ ケージ基板・精 密基板検査装 置関連事業	精密基板製造 装置関連事業	デジタルパソ ロジー関連機 器事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	449,535	419,292	19,819	888,647	—	888,647
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	449,535	419,292	19,819	888,647	—	888,647
セグメント損失(△)	△161,999	△53,723	△4,165	△219,888	7,348	△212,540

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額7,348千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年5月1日至平成29年1月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 ((注)1)	四半期連結 損益計算書 計上額 ((注)2)
	半導体パッ ケージ基板・精 密基板検査装 置関連事業	精密基板製造 装置関連事業	デジタルパソ ロジー関連機 器事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	801,993	478,537	29,222	1,309,752	—	1,309,752
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	801,993	478,537	29,222	1,309,752	—	1,309,752
セグメント利益 又は損失(△)	17,327	17,049	△59,869	△25,492	9,738	△15,753

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,738千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。